

つなみまち

2018年8月20日発行
No.209

7月定例会 7/18~20

町長所信表明	02
補正予算、請願・意見書、議会採決結果	03
一般質問 町政を問う	04~08
委員会レポート	08~09
町民登場 この人に会いました	10



大地の芸術作品（竜ヶ窪温泉）

津南町議会

検索

町のホームページでも議会だよりをご覧になれます。
発行：新潟県津南町議会 責任者：議長 草津 進

桑原町長 所信表明



このたびの町長選挙におきまして、第6代の津南町長という重責を担わせていただくことになりました。

私は、希望や可能性を感じる町で小さな命も含め、町民の生活を守っていく強い覚悟で取り組んで行く決意です。

自らが訴える思いを前に進めるために、「希望と愛、参加できるまちづくり」未来をつくる子どもたちのためにいま、立ち上がろう」という政策から、「希望」「愛」「参加」の3つの大きな柱を軸として、政策を構えてまいります。

第一柱は、「希望のまちづくり」です。

「大規模農家も小規模農家も共存共栄、儲かる農業」です。我が町は「農業立町」という意思を明らかにした、全国でも稀な自治体でございます。農業専門人材を町に置き、先んじて策が打てるように、産地づくりをサポートしていきます。

また、農産物の販売面では、国や県、企業

とつながりを深め、マーケティングに力を入れ、国内外の新たな販路開拓のために、トップセールスを行ってまいります。

次に、「津南町独自の価値である『文化』を観光資源に」です。

長年、文化財の保護・活用への投資を続けてまいりました。それを最大限に活かし、我が町は「雪国文化」と「縄文文化」の「文化立町」でもあるということを高らかに掲げてまいります。

町政では、「農業立町」「文化立町」を軸に、欲しくなる（物産）、訪れたいくなる（観光）、住みたいくなる（移住定住）という津南ブランドづくりを進めます。

第二柱は、「愛あるまちづくり」です。

一つは、「安心できる質の高い地域医療・介護」です。町立津南病院は一次医療を担う医療機関として、必要な診療体制の整備、十日町市から北信をカバーする救急体制の整備、在宅医療・看取り、疾病予防対策強化に特化することがベストです。

二つは、「子どもの育ちを家庭や地域とともに全力疾走」です。新保育園を建設する方向で進め、子どもたちが過ごしやすい、快適な環境整備を行うと同時に、待機児童対策に取り組みます。子育て中の親たちが育児中にホッとできる場づくり（カフェ）を進め、リフレックスしながら、子どもとの愛着形成を支援します。

時代の変化のスピードがより早く、国際化が進む時代に生きる子どもたちが、他者を思

いやる力、自分の言葉で表現する力などを身につけられるよう全力で支援してまいります。

三つは、「ここで暮らすためのインフラ整備に果敢に挑戦」です。インフラ整備のために、積極的に現場に出向き、対話をしていきます。国道405号の改良、灰雨新トンネルの早期完成に向け、引き続き関係機関と連携し活動していきます。

第三柱は、「参加できるまちづくり」です。

一つは、「中心市街地の活性化」です。商工会との連携を深めて、商工業を支えてまいります。特に商店街の空き店舗については、様々な意見を募り、町民の交流活動や起業の拠点としていきます。

二つは、「関係人口」の拡充」です。津南町に縁や所縁がある人々や関わりを持ちたいと思っている全国の人々を、将来にわたって町の活力になって頂くために「(仮称)津南サポーター(第二町民制度)」を検討してまいります。

これら三本の柱「希望のまちづくり」、「愛のあるまちづくり」、「参加できるまちづくり」を効果的に実現していくために、徹底的な対話を行います。独自色のある取り組みができるよう組織づくりを行います。

最後に、限られた資源で、よりよい町民生活を実現していくために、その先頭に立って誠心誠意努力いたします。議員各位のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

平成30年度補正予算

一般会計

補正額 5,523万円
 総額 66億1,536万円

主な内容

補助金 コミュニティ助成事業 250万円
 マウンテンパーク津南 3,510万円
 雪上車購入費 777万円
 県町民税等還付金増 274万円
 観光施設修繕費増

特別会計

国民健康保険特別会計

補正額 ▲17万円
 総額 9億587万円

介護保険特別会計

補正額 40万円
 総額 17億6,583万円

簡易水道特別会計

補正額 70万円
 総額 1億7,775万円

下水道事業特別会計

補正額 300万円
 総額 3億8,055万円

平成30年第2回議会定例会が7月18日から20日まで開催されました。新町長の所信表明がされ、8人が一般質問に立ちました。平成30年度補正予算が審議され活発な議論がされました。会期中に常任委員会が開かれ、請願審査を行いました。介護予防サービス、家庭的保育事業等に関する条例改正などを可決し、議員発議による意見書2件を可決し、閉会しました。

請願・意見書

「中条第二病院・老健きたはら」の存続を求める請願

地域で安心して暮らすには、命を守る病院はなくてはならない。意見書及び要請書の提出の請願

賛成多数で採択

「中条第二病院」の存続を求める意見書及び要請書の提出についての発議案

賛成多数で可決

意見書は新潟県知事へ、要請書は新潟県厚生農業組合連合会会長及び代表理事長に提出

30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める請願

全員賛成で採択

30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の提出について

の発議案 全員賛成で採択

平成30年7月 議会採決結果

議案番号	件名	表決状況												採決結果	
		半戸	村山	石田	風巻	筒井	桑原	中山	津端	大平	河田	藤ノ木	吉野		恩田
		義昭	道明	タマエ	光明	秀樹	洋子	弘	眞一	謙一	強一	浩子	徹	稔	
議案第41号	津南町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第42号	津南町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第43号	津南町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	可
議案第44号	津南町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第45号	工事請負契約の締結について(旧大船町営住宅解体工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第46号	平成30年度津南町一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第47号	平成30年度津南町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第48号	平成30年度津南町介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第49号	平成30年度津南町簡易水道特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第50号	平成30年度津南町下水道特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
請願第2号	「中条第二病院・老健きたはら」の存続を求める意見書及び要請書の提出の請願	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可
発議案第4号	「中条第二病院」の存続を求める意見書及び要請書の提出について	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可
請願第3号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
発議案第5号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

●採決結果の記載方法(可=賛成多数で可決等の場合:否=賛成少数で否決等の場合)

●表決状況の記載方法(議員個々の賛否:賛成=○・反対=×・欠席=欠・除斥=除:議長は表決に参加できません)

7/20 町政を問う!!!

一般質問 (8議員)

1

半戸 義昭 議員 (4ページ)
1. 桑原町長の基本政策 (理念) は

2

石田タマエ 議員 (5ページ)
1. 津南病院のあり方について問う
2. 新保育園建設計画の詳細は

3

大平 謙一 議員 (5ページ)
1. ぐっと前に進める政策とはどんなものか問う
2. 人口減少対策はどうする

4

桑原 洋子 議員 (6ページ)
1. ニュー・グリーンピアの今後は
2. 津南病院の在り方、地域医療への関わりは

5

藤ノ木浩子 議員 (6ページ)
1. 農業法人設立に町の支援を

6

風巻 光明 議員 (7ページ)
1. 津南病院の今後について問う

7

筒井 秀樹 議員 (7ページ)
1. 商工業者への今後の対応は
2. 観光地としての方向性は
3. 学力格差是正と付加価値教育について

8

村山 道明 議員 (8ページ)
1. 農業参与職の登用、課再編の目的は
2. 新保育園建設の用途は

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

桑原町長の基本政策 (理念) は

町長 津南町は、自然豊かな環境と、豊かな文化を誇る町です。町民の皆様が安心して暮らせる町であり、参加と協働のまちづくりを推進してまいります。

問 上村町政・8年間の事業の継続と見直しは、見解を問う。

町長 津南認証米制度・津南天然水の販売などの産業振興、学校支援員の強化など子育て教育環境の向上などは引き続き継続し事業の見直しについて

町長 私の目指す町づくりのキーワードは、希望・愛・参加できる町づくりである。希望とは未来への原動力、愛とは老若男女、安心して住み暮らせる町であり、参加とは町民の皆様が参加してともに町づくりを行っていただきたいということである。

問 上村前町長は強くてどこよりもやさしい町づくりを基本理念としてきたが桑原町長の目指す町づくり (基本理念) を伺う。

上村前町長との基本政策 (理念) の違いは



半戸 義昭 議員



津南町、どう変わる

では、今後、職員からヒヤリングを受けることになっておりその後、内容・財源など評価させていただき区分けしてまいりたい。

問 与えられた任期は4年である、4年後の津南をどのように描かれているか。

町長 縄文時代に習い先人が残してくれた資産を最大限に活用し、10年20年先を見据えた長期的スパンで津南町をグッと前に押し出し移住、定住につながるような町づくりを考えている。

津南病院の公設民営か否かは町長判断

津南病院のあり方について



石田 タマエ 議員

問 昨年度病院運営審議会が答申した内容に対して以下の3点を問う。①答申の基本的な方向付けについての見解。②休床中の病棟の今後の見通しは。③「若い医師が海外研修できる病院にする」と公言しているが、その具体的施策は。

町長 ①基本的な考え方は踏襲していく。②今後、福祉保健課と連携し検討していく。③安定的に医師確保できる方法だと思いが、課題が多い。

問 ①「公設民営」については審議会でも充分検討してきたが、町長自身で検討するということか。②運営審議会には、福祉課長、福祉課班長3人も参画していたが、同じことを再度検討するのか。

町長 ①公設民営については私自身で検討する。

副町長 ②事務局サイドで、詳細について精査したい。

新保育園建設計画の詳細は

問 現在保育園の待機児童があり、町長は、新保育園を建設して待機児童解消に取り組みと公言しているが、年次計画と財源を問う。

町長 現在用地交渉中であり、それが固まったら詳細を提示する。財源は、現行の事業見直しや、病院の経営改善等から捻出し、併せて有利債を活用したい。

教育長 当面は3園体制を考えているが、いずれは、全町1園が可能な新保育園を計画する。



院外薬局を検討中の院内薬局

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

若さを生かした新政策は

ぐっと前に進める政策とはどんなものか



大平 謙一 議員

問 農業政策は。

町長 大規模農家も小規模農家も儲かる共存共栄の農業をめざす。農業に精通した専門家を農政策の柱とし、あらゆる農家の要望に心えたい。

問 観光については大きな政策となると言っているが、どうするのか。

町長 観光については参加できる町づくり、津南版DMOは観光業者だけのものではなく、多様な町民が笑顔になれる地域づくりのために観光を使う。津南ブランドを確立する。津南の雪国文化を観光に活かしていく。そのために雪国観光圏と連携していく。

問 津南病院については。

町長 常勤医確保に努める。また津南病院の立ち位置としてさまざまな診療科を揃える

より総合診療科に変えていきたい。

問 町長のシンクタンクは。

町長 町の情報収集は重大であり、私は就任挨拶を兼ね、県知事、県選出の国会議員と会談と陳情を行い、ホットラインを結んできた。町にとって重要な情報源パイプを太くしていきたい。

問 人口減少対策はどうする。

町長 毎年200人前後の減である。この対策は重要であり、今までの政策実施と子どもたちが小さな頃から、人生設計をイメージできるような施策、教育や定住推進事業などを組合せ推進していく。



津南版DMOとは

ニュー・グリーンピアは、地域医療は



原 洋子 議員

ニュー・グリーンピア津南の今後を問う

問 前町政が進めていこうとしていた施設全体の行政財産化に対して、馴染むのかどうか。選挙前の集落座談会で町長は住民からの行政財産化に対する質問に、反対の意思を示し経営のプロに任せたい、売却も考えている、と答弁している。この行政財産化反対の考えに変わらないか問う。

町長 今後大規模な修繕が出てきた場合、どう対応していくかが大きな課題である。公設民営か、売却か、廃止するか色々な選択肢がある。リゾート経営のプロに任せることも一つの選択肢との考えから発言した。

45床で地域医療守れるか

問 十日町、津南地域のベッド数はここ3年間で256床

削減された。3月議会で津南病院のベッドは62床から45床に減った。当時町議であった町長も賛成した。地域医療を守るにはベッド削減でなく、維持、増床が必要だ。

町長 今後少子高齢化が進む中で、ベッド数を増床するのでは今のところ考えていない。

事務長 4月から7月では入院ベッド45床に対し、最も多い月は42床から44床であった。

問 町長は「いつまでも赤字を垂れ流すわけにはいかない、公設民営も一つの選択肢」と言ったが受け手がいるのか。

町長 政策として掲げるにあたり裏付けは取ってある。夢物語を言っていると思つてない。公設民営も選択肢の一つ。



行政財産となったスキー場

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

耕作の担い手確保を



藤ノ木 浩子 議員

農業法人設立に町の支援を

問 農業立町の津南町にとって稲作、畑作などを中心とした農業は、先人から受け継がれ育んできた財産だ。農家総数は減少しているが、稲作は1447ha作付されている。昨今、特に高齢化で「80歳まで頑張ってきたが、もう米を作れない、引き受け手がいない。」あるいは「今耕作しているのは、ほとんど70代で40代は一人しかいない。集落で耕作できる人がいなくなる。」など、町民の農業への不安は、ますます強くなっていると感じる。担い手確保のため農業法人立ち上げに町としても支援できないか。

町長 町内の意欲ある担い手や集落から法人化の相談があった際は、町としても新潟県と連携を図り、農業に精通

した人材からも相談の場に入り、サポートしていく体制を構築したいと考えている。

問 JA津南とも協力連携しながら、町職員の中に農業の事なら何でもわかるスペシャリストを育成し、農家の相談に応える窓口を設置したらどうか。

町長 兼業で農業をする職員も少なくなり、現場の声が入りにくくなっているのではな

問 法人設立にあたり、後押しとなる町の支援を。

副町長 どの程度の支援が必要になるか、詳細に検討する。



中山間地を守る担い手確保を

津南病院の今後について問う



風巻 光明 議員

「公約は病院の損益改善につながるのか」

問 津南病院の公設民営化が経営改善につながるという口ジツクは？

町長 経営改善につながるという事で民営化を訴えた訳ではないが、病院をプロの事業者が行う事により、効率化や機動性が発揮できること、人員管理が集約的に行われることにより収益の改善が見込まれると考えている。

問 民営化は都市部の人口の多い地域で成功事例があるが、高齢化率の高い過疎地では疑問がある。特に国からの交付税の変化（減少）がどうなるかが予測できるのか。

総務課長 病床数を現状維持とすれば、変わらないのとは思っている。

問 24時間体制の医療の推進、これは救急及び訪問診療だが、

この問題点と損益改善がどうリンクするのか。

町長 二次医療救急病院として医療を担っているが、今の医師、看護師の配置では24時間体制の「療養支援病院」の認可が取れない。常勤医師の1名確保と看護師の増員ができれば、認可を受け診療報酬も上がり収益改善が期待できる。

問 24時間体制は、交代制が必要、看護師の数名増員が必要である。

昨年度の訪問看護件数は伸びているが交代制を取れば、現在の件数の5〜6倍となっても損益は厳しい。また秋山郷などは冬季間の夜は不可能、地域差別はあってはならないが、どう対策するのか。

町長 遠隔診療まではいかなくても気軽に医師に相談できる体制が必要だ。



津南病院運営審議会、諮問受け経営改善について答申

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

商工業と観光の方向性、子供の教育を問う



筒井 秀樹 議員

「商工業者への今後の対応は」

問 町内商工業の衰退が進んでいるが、行政として今後の対応、展望はどうか。

町長 町内の事業者は、地域経済を支える大きな役割を果たしており、行政として様々な補助金等を活用し経営支援を行うとともに、人材確保の支援、商工会、大割野商協等の関係機関との連携を密に行っていく。

「観光地としての方向性は」

問 観光地として荒廃したゲートや看板はどう思うか。

町長 各施設とも予算の範囲内で優先順位をつけて修繕を行っているため、今後も町の財政状況を見ながら対応し、観光地として津南ブランドを管理しながら情報発信してい

く。あくまでも、観光は民間主導なので民間でできることは民間でやっていただく。

「学力格差是正と付加価値教育について」

問 地域的な偏差値格差を幼少期の遊び英語等で向上させ、津南町移住のための付加価値を提供するのはどうか。

教育長 育ネットつなん、ジオパーク教育等の取り組みで、ふるさと津南に誇りと自信を持つ教育の成果が出てきている。幼児教育については今後の検討課題とさせていただく。私案であるが、英語教育十二年構想など検討してみたい。



商店街の今後はどうなる

待機児童の解消見通しは



村山 道明 議員

農業参与職員登用 及び課再編の目的は

問 農業参与職者を登用して、農業者の所得アップに繋げるとしているが、どのような成果をお考えか。また、地域振興課を2課に再編するとしているが、真の目的は何か伺う。

町長 農業に精通した職員がいないことから、営農指導、経営指導などいち早く情報収集し対応策を検討し、各関係機関と横断的に調整ができ、農業に精通した人材が必要と考えている。また、農業支援課設置は、大規模・小規模農家も共存共栄し、津南にあったもうかる農業施策を進める専任課が必要と考えている。

新保育園建設の目的は

問 早期、延長保育の希望が年々増えている。中央地域では、未満児園入所増が現状であり待

機児童対応も深刻である。子育て支援の核となる新園建設時期を明確に示すべきと考える。また保育料無料化の意気込みはどうか伺う。

町長 用地地権者の同意が得られた時、いち早く皆様に建設時期など示し、保護者ニーズにお応えできる体制づくりにも努めたいと考えている。政府は、保育園費用一部無償を閣議決定した。無償化したした場合、自治体の財源不足をどう補うかなど判断する必要がある。子育て世代の経済的負担軽減は重要と考えている。今は待機児童対策が最優先である。

病院の赤字増に拍車がかかる

問 24時間訪問看護を充実することは、赤字増加に増々つながる。現況にあった体制ですべきであると考えるが伺う。

町長 医師、看護師等人的確保も含めクリアしなければならぬ課題が多く存在し、収支問題も認識している。

保育入所児童数対人口

年齢	入所児童数	人口
	H30.4.1	H30.3.31
0	3	52
1	43	66
2	46	63
3	57	57
4	58	59
5	67	67
計	274	364

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

委員会レポート

総文福祉常任委員会

民生児童委員との懇談会

とき 4月17日(火)

ところ 役場大会議室

内容 この懇談会は毎年行われ、民生児童委員の各部会から前もつて要望事項をいただき、それを議題といたしました。要望事項は

- 障害者にとつて暮らしやすい町とは
- 公共交通体系について
- 学校が取り組むあいさつ運動とラジオ体操に大人も参加を
- 子供の貧困状況について
- 公共施設のトイレの洋式化
- 国道117号から病院に向かう町道の電柱が車道に立ててあり歩行者が危険

など要望があり総文委員で調べて回答し、全員で協議いたしました。特に公共交通体系については、病院への交通手段やほかの用事や中心街以外の集落への交通手段等が不便である。デマンド交通は前もつて予約が必要のため利用しにくいなど意見がありました。また、働きやすい特性を生かした施設等を意見がだされました。

懇談会を終えて

公共交通体系は交通手段のない方にとつては移動の手段であり、早急にご利用しやすい改善が必要と感じられます。また、障害者にとつて暮らしやすい町にするためにも更なる検討が必要かと感じました。(担当 河田強一)



ラジオ体操に参加を!!

デマンド交通を視察

とき 6月12日(火)

ところ 胎内市及び三条市

内容 総文福祉常任委員会で、暮らしを支える公共交通を



デマンド交通を視察

現したく、胎内市と三条市のデマンド交通を視察。総務課長を含む職員3名と森宮交通山岸社長も同行しました。

胎内市では市内のハイヤー・タクシー協会に委託し、9人乗りワゴン車で予約制乗合自動車のれんす号が走っていました。運行日は毎日70代〜80代の高齢者が多く利用。事業費は運行委託料等約6200万円でした。今後は一人で乗降が困難な方への支援、免許返納者への支援拡充を考えているそうです。

三条市では市町村合併や路線バス廃止による交通空白地域拡大への対応が求められ、現在、タクシー車両によるデマンド交通が行われています。予約は一時間前でも

可能で高齢者の外出促進を目的に「お出かけパス」カードを発行し工夫して行いました。

視察を終えて

津南町も町民要望に沿った足の確保対策が早急に求められています。(担当 藤ノ木浩子)

産業建設常任委員会

津南町農業改良会議並びに津南町経営の生産対策推進協議会

とき 4月23日(月)

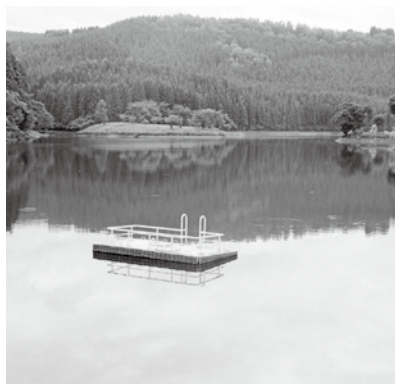
ところ 役場大会議室

内容

- 一、町地域振興課農林班から平成30年度事業概要について説明
- 二、十日町農業普及センターにおける十日町地域の現状と課題
- 三、新潟県高冷地農業技術センターの雪及び冷涼な気象を利用した試験研究について
- 四、県営妙法牧場の預託状況、施設概要
- 五、中魚沼共済組合から各共済事業について説明
- 六、津南郷土地改良の維持管理事業地区の概要
- 七、津南町農業組合から重点方針について説明

懇談を終えて

農業を取り巻く環境は厳しく後継者不足、産地間競争、など様々な課題に関係機関が今まで以上に情報を共有し取り組む必要性を強く感じました。(担当 半戸義昭)



水不足が心配な中子ため池

県内視察 農林業を活かした町づくりと人口減少対策

とき 6月8日(金)

ところ 東蒲原郡阿賀町

内容 阿賀町の人口は約11,300人。主な農業は稲作ですが現在は耕作放棄地も増加し、畑作も猿などによる獣被害が多発しています。耕作放棄地対策でエゴマ栽培を始め、新たな特産品化、6次産業化へ大きく踏み出しました。森林の荒廃が進むため、木材利用と鳥獣害対策を同時に解決す

る方法を検討しています。猟友会会員数は現在56人です。地域おこし協力隊員は19人おり定任率85%です。又、総務省の「集落支援員制度」を活用し、地元の20代から30代女性を4人採用。支援員一人当たり、月20万円が支給されます。集落訪問や、移動販売車で高齢者の見守りを兼ねた訪問もスタートしました。「地域に光」です。

視察を終えて

森林、里山整備を積極的に進め、6次産業化にも取り組んでいます。地域おこし協力隊員の定任率も高く、又、「集落支援員制度」も大変良い制度に委員会でも今後研究、検討したいと考えています。(担当 栗原洋子)

議員紹介

去る6月24日に行われた町議会議員補欠選挙で、筒井秀樹さんが当選されました。

○議席番号 5番

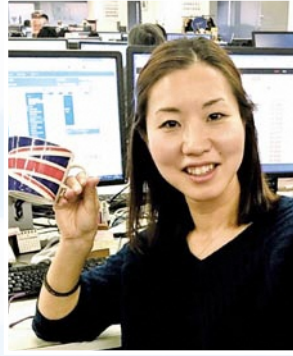
○筒井秀樹 (大割野)

○所属 総文福祉常任委員会



この人に会いました...

ジャックマン秋山 望さん(大割野)



自己紹介

今年の5月に津南に移住しました。出身は新潟県上越市、以前は東京に10年行ったり来たり、カナダに1年、イギリスに7年住みました。約16年の飲食業の経験を元に現在はカフェの店長を津南で任されました！夫はまだ東京在住、2人の子供を連れ津南の街並みを楽しんでいます。

助けられていること

越してきてから、新しい環境で子供たちと二人三脚の中で保育園の先生方、地域の方、ママさん方には助けられていています。身近に感じられる仲間ができて幸せに感じます。津南の皆さんは本当に優しい方々です。

津南も実家の上越もそうですが、高齢化が進み若者が街を去っています。私は地域活性化と町おこしのための今現在のプロジェクトに賛同し、より良いものがあるところに人は集まる、そんな空間を作りたいと思っています。

今後個人のやりたいことは、外出できない方々に何かおいしいものを届けるサービスや、ヨガ、英会話クラスを実施し、地域の人たちに楽しんでもらえる活動ができればいいなと思っています。



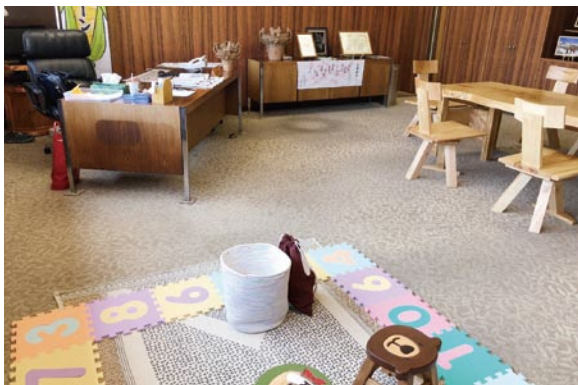
ジャックマン秋山ファミリー

第3回定例会は9月10日(月)に開会予定です。お気軽に傍聴においでください。

編集後記

日本一長い信濃川・日本一の河岸段丘・雪・米・水・人と、かぞえればきりが無い。そして全国最年少町長(31歳二児の母)が誕生した。二番でも五番でもいいのだが、なぜか耳触りがいいのも確かである。一気に「つなんまち」が日本列島を駆け抜けた。

さてさて注目を浴びるのは良いこと？悪いこと？熱い視線は首長へ、それとも選択した津南町民へ、決めるのはやはり四季のはっきりしている自然豊かな地に住む我々である。(中山)



町長室